

科目名	運動器障害理学療法学演習Ⅱ	担当教員	小林巧※ 小林匠※ ※印は実務経験のある教員を示す。
-----	---------------	------	----------------------------------

開講専攻	分野	種別	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
理学療法学専攻	専門科目	選択	3年次	後期	1単位	演習

科目概要	「運動器障害理学療法学演習Ⅰ」の内容を踏まえ、各疾患の急性期・回復期・慢性期における理学療法が行えるようになるための評価・治療手技の演習から、各疾患に対する理学療法の考え方を身につけることを目的とする。各疾患の急性期・回復期・慢性期における、リスク管理や治療アプローチはそれぞれ異なるため、実際の臨床場面における各疾患の患者を想定し、必要な評価・治療アプローチを選択して患者へ指導し、実施できる技術を身につける。
学習目標	1. 代表的な運動器疾患を有する患者に対する一連の理学療法評価を理解し、実践できる。 2. 代表的な運動器疾患を有する患者に対するリスク管理を実践できる。

回	項目	主な学習内容	到達目標	実務経験 教員担当 項目
1	肩関節1	肩関節周囲炎の理学療法評価・治療	肩関節周囲炎に対する理学療法評価を実践し、基本的な治療プログラムを立案できる。	小林匠
2	肩関節2	腱板損傷の理学療法評価・治療	腱板損傷に対する理学療法評価を実践し、基本的な治療プログラムを立案できる。	小林匠
3	肘・手関節1	上腕骨内・外側上顆炎の理学療法評価・治療	上腕骨内・外側上顆炎に対する理学療法評価を実践し、基本的な治療プログラムを立案できる。	小林匠
4	肘・手関節2	前腕骨骨折の理学療法評価・治療	前腕骨骨折に対する理学療法評価を実践し、基本的な治療プログラムを立案できる。	小林匠
5	脊柱1	特異的腰痛の理学療法評価・治療	特異的腰痛に対する理学療法評価を実践し、基本的な治療プログラムを立案できる。	小林巧
6	脊柱2	非特異的腰痛の理学療法評価・治療	非特異的腰痛に対する理学療法評価を実践し、基本的な治療プログラムを立案できる。	小林巧
7	股関節1	変形性股関節症の理学療法評価・治療	変形性股関節症に対する理学療法評価を実践し、基本的な治療プログラムを立案できる。	小林巧
8	股関節2	大腿骨近位部骨折の理学療法評価・治療	大腿骨近位部骨折に対する理学療法評価を実践し、基本的な治療プログラムを立案できる。	小林巧
9	膝関節1	変形性膝関節症の理学療法評価・治療	変形性膝関節症に対する理学療法評価を実践し、基本的な治療プログラムを立案できる。	小林巧
10	膝関節2	膝前十字靭帯損傷の理学療法評価・治療	膝前十字靭帯損傷に対する理学療法評価を実践し、基本的な治療プログラムを立案できる。	小林巧
11	膝関節3	半月板損傷の理学療法評価・治療	半月板損傷に対する理学療法評価を実践し、基本的な治療プログラムを立案できる。	小林巧
12	足関節1	足関節捻挫の理学療法評価・治療	足関節捻挫に対する理学療法評価を実践し、基本的な治療プログラムを立案できる。	小林匠
13	足関節2	アキレス腱断裂の理学療法評価・治療	アキレス腱断裂に対する理学療法評価を実践し、基本的な治療プログラムを立案できる。	小林匠
14	足部1	扁平足障害の理学療法評価・治療	扁平足障害に対する理学療法評価を実践し、基本的な治療プログラムを立案できる。	小林匠
15	足部2	足部骨折の理学療法評価・治療	足部骨折に対する理学療法評価を実践し、基本的な治療プログラムを立案できる。	小林匠

評価方法	筆記試験(100%)
教科図書	運動器障害理学療法学テキスト 改訂第2版 (南江堂)
参考図書	病気がみえる vol.11 運動器・整形外科 (メディックメディア) 運動機能障害の「なぜ?」がわかる評価戦略 (医学書院) 関節機能解剖学に基づく 整形外科運動療法ナビゲーション (メジカルビュー社) 膝関節理学療法マネジメント (メジカルビュー社) 足部・足関節理学療法マネジメント (メジカルビュー社) 股関節理学療法マネジメント (メジカルビュー社) 運動器障害理学療法学 I・II 15 レクチャーシリーズ 理学療法テキスト (中山書店) クリニカルリーズニングで運動器の理学療法に強くなる! (羊土社)
学習の準備	運動器障害理学療法学, 運動器障害理学療法学演習 I の内容を復習しておくこと
オフィスアワー	在室時はいつでも可能
担当教員欄に※印を附した教員の 実務経験	小林巧・小林匠は、民間病院で運動器疾患における理学療法の実務経験を有しており、本講義においてその経験を活かしてより実践的な指導をすることができる。